

原水爆禁止2019年世界大会へのメッセージ

広島・長崎に原爆が投下されてから、74回目の夏を迎えようとしています。

日本は、核兵器の恐ろしさを、身をもって体験した世界で唯一の国であり、

このことを世界中の人々や後世に語り継いでいかなくはなりません。

所沢市では、戦争による悲惨な体験を風化させることなく、平和の尊さを

後世に伝えていくため、毎年8月6日に広島で行われます「広島市原

爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に市民及び市議会代表らが参加しており

ます。また、小学校等において、被爆体験者と戦争体験者である語り部にお

願いをし、戦争体験等を講話いただき、平和学習にも取り組んでおります。

私としても、戦争も紛争も無い、そして勿論「核兵器のない世界」が

実現し、世界の恒久平和が一日も早く実現されることを願っております。

この度の「原水爆禁止2019年世界大会」が多くの成果を収められ、「核

兵器の廃絶」が早期に実現されることを心よりお祈り申し上げます。

令和元年8月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

所沢市長

藤本 正人

